

体外受精の保険適用費用(患者様負担額：3割)

1.生殖補助医療管理料：900円（体外受精周期毎）

2.採卵基本料：9,600円

採卵個数ごとに加算あり

1個	7,200円（合計16,800円）
2～5個	10,800円（合計20,400円）
6～9個	16,500円（合計26,100円）
10個以上	21,600円（合計31,200円）

3.受精費用

1) 通常法(conv.)：12,600円（個数に関らず）

2) 顕微授精(ICSI)

1個	14,400円
2～5個	20,400円
6～9個	30,000円
10個以上	38,400円

* 両方行う場合は、顕微授精代+通常法の半額(6,300円)

* TESE精子使用の場合は初回採卵周期のみ15,000円加算

4.受精卵培養費用(受精した個数ごとに加算)

1個	13,500円
2～5個	18,000円
6～9個	25,200円
10個以上	31,500円

5.胚盤胞加算(胚盤胞培養個数)

1個	4,500円
2～5個	6,000円
6～9個	7,500円
10個以上	9,000円

6.胚移植費用

新鮮胚移植	25,500円
融解胚移植	36,000円

* 透明帯開口術(AHA) 3,000円

* ヒアルロン酸添加培養液 3,000円

7.胚凍結保存(2年間)

1個	15,000円
2～5個	21,000円
6～9個	30,600円
10個以上	39,000円

8.外来費用

3～5万円程度

* 誘発方法や来院回数によって前後しますので、あくまで目安になります

【例1】 刺激周期(採卵10個、通常法+顕微授精、新鮮胚移植、余剰胚2個凍結)

生殖補助医療管理料(900円)+採卵10個(31,200円)+通常法5個(6,300円)+顕微授精5個(20,400円)+
受精卵培養費7個(25,200円)+胚盤胞培養加算7個(7,500円)+胚移植25,500円+AHA(3,000円)+
余剰胚凍結2個(21,000円)+(薬剤、ホルモン検査、超音波で約50,000円)

合計191,000円

【例2】 刺激周期(採卵10個、顕微授精、全胚凍結、3個凍結)

生殖補助医療管理料(900円)+採卵10個(31,200円)+顕微授精10個(38,400円)+
受精卵培養費8個(25,200円)+胚盤胞培養加算8個(7,500円)+胚凍結3個(21,000円)+
(薬剤、ホルモン検査、超音波で約50,000円)

合計174,200円

* 融解胚移植を行う際には、36,000円(+AHA3,000円)が別途発生します

* 保険適用の回数カウントは移植まで行った場合であり、採卵の回数ではありません。

* 高額療養費限度額制度を使用した場合、還付を受けられる場合があります。

